

BTMU CHINA WEEKLY

EXPERT VIEW:【日系企業のための中国法令・政策の動き】

今回は 2012 年 2 月下旬から 3 月上旬にかけて公布された法令をとりあげました。一部以前に公布され、公表が遅れたものを含んでいます。

<p>[法律]</p> <p>○「全国人民代表大会常務委員会の『中華人民共和国クリーン生産促進法』の改正に関する決定」(国家主席令第 54 号、2012 年 2 月 29 日公布、同年 7 月 1 日施行)</p>	<p>クリーン生産促進法は、環境汚染の減少と資源利用効率の向上を目的として、生産・サービス業者に対して設計の改良、クリーンエネルギー・原料の使用、先進技術・設備の採用などを奨励するもの。今回の主な改正点は、①汚染物質排出基準・総量コントロール指標とエネルギー使用量基準を超過している企業及び有毒・有害な原料を使用または有毒・有害物質を排出する企業に対して企業自身によるクリーン生産審査・確認及び報告・公表を強制する規定を設けたこと、②製品の過剰包装を禁止する規定を設けたこと、③国と地方にクリーン生産促進の財政資金投入を義務付ける規定を設けたこと。</p>
<p>[規則]</p> <p>○「財政部、国家安全生産監督管理総局の『企業安全生産費用積立及び使用管理弁法』の印刷・発布に関する通知」(財企[2012]16号、2012年2月14日発布・実施)</p>	<p>企業の安全生産費用の積立と使用に関する規則。対象業種は、従来、個別の規則で規定されていた鉱業、建設、危険品生産・貯蔵、運輸などのほか、冶金、機械製造が加えられた。積立比率は、建設企業が工事の種類別に工事金額の 1.5~2.5%、運輸企業が一般貨物輸送で営業収入の 1%/月、危険品等の輸送で 1.5%/月、冶金企業が営業収入に応じて 0.05~3%/月、機械製造企業が同じく 2~3.5% など。会計処理は、積立時ではなく使用時に費用計上する。</p>
<p>○「商務部、国家發展改革委員会等 10 機関の対外貿易方式の転換加速に関する指導意見」(商貿発[2012]48号、2012年2月17日発布・実施)</p>	<p>中国の対外貿易は、“不均衡”(輸出と輸入)、“不協調”(貨物貿易とサービス貿易、対外貿易と国内貿易、東部地区と中西部地区など)、“不可持続”(資源、エネルギー、労働力に依存)の問題が深刻であるとして、その發展モデルの転換について方針を示したもの。主要任務は、①途上国市場の開拓、②中西部地区の貿易發展、③各種輸出基地の建設、④国家級商談会、専門市場、電子商務など各種プラットフォームと販売ネットワークの建設、⑤先進技術標準の採用と国際標準制定への参与、低炭素・省エネ・環境保護製品の奨励などを通じた輸出商品のブランド・品質の向上、⑥加工貿易の發展モデル転換とグレードアップ、⑦海外進出(“走出去”)による貿易の促進など。</p>
<p>○「商業フランチャイズ情報公開管理弁法」(商務部令 2012 年第 2 号、2012 年 2 月 23 日公布、同年 4 月 1 日施行)</p>	<p>フランチャイズの基本法規である「商業フランチャイズ管理条例」(國務院令第 485 号、2007 年 5 月 1 日施行)に規定される情報開示に関する規則で、2007 年の同名の弁法(商務部令 2007 年第 16 号、2007 年 5 月 1 日施行)を廃止して新たに制定したもの。主な変更点は、①開示が義務付けられる情報のうちフランチャイジーへの提供サービスの内容、指導・監督の方法・内容、②フランチャイジーの秘密保持義務、③罰則がそれぞれ具体的に規定されたこと。</p>

(本シリーズは、原則として隔週で掲載しています。)

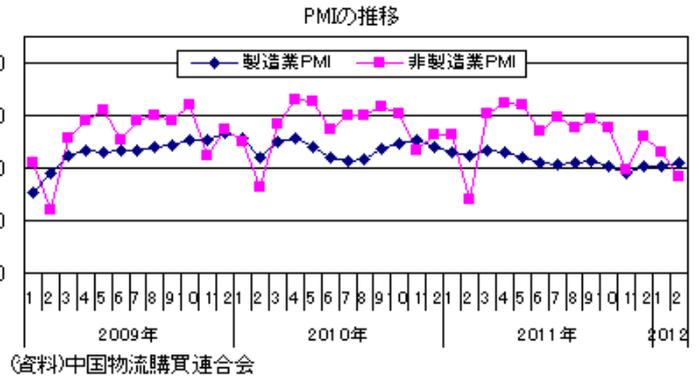
CHINA WEEKLY

WEEKLY DIGEST

【経済】

◆2月製造業PMI 51.0 3ヶ月連続で改善

中国物流購買連合会の3月1日の発表によると、2月の製造業PMIは前月比0.5ポイント上昇して51.0となり、景気拡大・縮小判断の分岐点となる50ポイントを3ヶ月連続で上回った。春節(旧正月)明けに企業の生産活動が活発化したことで、製造業の業況は穏やかな改善傾向を示したものの、前年同期に比べ、伸び率は鈍化しているとした。PMI構成指数別では、生産高指数が前月比+0.2ポイントの53.8、新規受注指数が同+0.6ポイントの51.0、雇用指数が同+2.4ポイントの49.5、サプライヤー納期指数が同+0.6



(資料)中国物流購買連合会

ポイントの50.3と、いずれも前月に比べ改善した。一方、原材料在庫指数は前月比▲0.9ポイントの48.8と、10ヶ月連続で50を下回った。非製造業PMIは前月の52.9から4.5ポイント落ち込み48.4となった。同連合会は、春節後、小売業、飲食業等、消費型サービス業が大幅に低迷したことが要因と分析している。

◆世界銀行 報告書「2030年の中国:現代的で調和の取れた創造力を有する高収入社会の建設」を発表

世界銀行は2月27日、中国国務院発展研究センターと共同で「2030年の中国:現代的で調和の取れた創造力を有する高収入社会の建設」と題する、中国の今後の発展戦略について纏めた報告書を発表した。報告書は、中国が過去30年間高成長を遂げてきたが、今後20年に亘っても持続的成長を実現するには、新たな発展戦略を展開する必要があると強調。中国の改革戦略について、具体的に以下の6項目を提案した。①市場経済を基礎とした構造改革;政府の役割を再定義し、国有企業・国有銀行改革を一層推進。商業銀行化、金利市場化を進め、規制や管理体制を改善する。②技術革新の加速;研究開発の量とともに質を一段と重視する。③環境に配慮したグリーン経済の促進;低汚染・省エネ・資源再利用事業への投資を奨励する。④国民全体に平等な機会とより良い社会保障の提供;衛生医療・教育・雇用等の民生を重視し、保障制度を強化する。⑤持続可能な財政体制の構築;財政収入の増加と、民生、環境分野への支出を引き上げる。⑥世界各国との互惠関係の確立;貿易・投資・金融におけるグローバル連携を深める。また、世界貿易における中国のプレゼンスの高まりとともに、人民元の国際化が進展する一方、準備通貨としての人民元の受け入れについては、今後の中国の金融制度改革と資本取引の開放状況によるとの見方も示した。

【貿易・投資】

◆山東省と上海市、最低賃金引上げ

山東省政府と上海市人的資源社会保障部は先般、最低賃金の引上げを発表した。山東省は、3月1日付けで同省全ての地区の月額最低賃金を引き上げ、1類地区は1,100元から1,240元へ、2類地区は950元から1,100元へ、3類地区は800元から950元へそれぞれ調整され、平均で15.8%の引上げとなった。一方、上海市の月額最低賃金は、1,280元から1,450元に引上げられ、引上げ幅は13.3%で、4月1日からの実施となる。なお、中国政府が2月8日に発表した「就業促進規画(2011~2015年)」で、2015年まで全国の最低賃金水準の年平均増加率を13.0%以上とするの方針を示しており、最低賃金引上げの流れは今後も各地で続く見通し。

※ 各都市の最新の最低賃金については下記リンクよりご覧いただけます。

<http://www.bk.mufg.jp/report/chi200403/312030701.pdf>

【金融・為替】

◆クロスボーダー人民元決済

～「輸出貨物パイロット企業」制度を廃止、「重点監督管理企業リスト」制度を新設～

中国人民銀行、財政部、商務部、税関総署、国家税務総局、中国銀行業監督管理委員会の6部署は2月3日付で、「輸出貨物貿易人民元決済企業管理に関する問題の通知」(銀發[2012]23号)を発表。クロスボーダー人民元決済については、従来、人民銀行等が認定したパイロット企業に限り、輸出貨物貿易の人民元決済を行うことができ、輸出に伴う増値税還付が受けられていたが、今後は、輸出入経営資格を有する全ての企業が輸出貨物貿易の人民元決済を行うことができるとし、増値税還付も適用されるものと思われる。一方、直近2年以内に不正な増値税還付請求等の違法行為のあった企業に対しては、「重点監督管理企業リスト」を新たに設け、リストに掲載された企業に対し、クロスボーダー人民元決済業務の厳格な審査や、クロスボーダー人民元決済で取得した人民元収入の海外留保を禁止する等、厳しい管理を行うとした。なお、上述の6部署は今後、各地方政府の報告に基づき「重点監督管理企業リスト」を認定し、リストが発表されるまでは、現行の「輸出貨物パイロット企業」制度が引き続き運用されるとしている。

(同通知の解説・仮訳 ⇒ <http://www.bk.mufg.jp/report/chi200403/312030501.pdf>)

人民元の動き

日付	USD				JPY(100JPY)		HKD		EUR		金利 (1wk)	上海A株 指数	
	Open	Range	Close	前日比	Close	前日比	Close	前日比	Close	前日比		前日比	前日比
2012.2.27	6.2980	6.2980~6.3029	6.3019	0.0041	7.7670	-0.0480	0.81246	0.0005	8.4652	0.0429	3.6600	2563.30	7.76
2012.2.28	6.2970	6.2970~6.3017	6.2990	-0.0029	7.7995	0.0325	0.81239	-0.0001	8.4774	0.0122	3.0000	2568.42	5.12
2012.2.29	6.2933	6.2929~6.2956	6.2936	-0.0054	7.8218	0.0223	0.81165	-0.0007	8.4750	-0.0024	3.4800	2543.89	-24.53
2012.3.01	6.2990	6.2982~6.3013	6.3002	0.0066	7.7840	-0.0378	0.81237	0.0007	8.3869	-0.0881	3.4000	2541.42	-2.47
2012.3.02	6.2978	6.2971~6.2987	6.2982	-0.0020	7.7150	-0.0690	0.81192	-0.0005	8.3591	-0.0278	3.3300	2577.60	36.18

(資料) 中国外貨取引センター、中国人民銀行、上海証券取引所資料より三菱東京 UFJ 銀行国際業務部作成

RMB レビュー&アウトルック

中国人民元は 6.2980 で寄りついた後 6.30 を中心に推移。29 日に中国人民銀行が対米ドル基準値を 2005 年人民元切り上げ以降最高水準となる 6.2919 へ設定すると高値 6.2929 まで急伸したが、再び 6.30 付近へ値を下げて越週している。1 日に発表された 2 月 PMI は昨年 5 月以来の高水準となった大企業の新規輸出受注が牽引し 9 月以来の水準に上昇するも、元相場への影響は限定的だった。むしろ国内経済先行きの不透明感や欧州債務問題への懸念を背景に上値重く、基準値近辺での小動きが続いている。今週は全国人民代表者会議が開催される。会議では 2012 年成長率目標が脆弱な世界経済等を背景に 8 年ぶりの低水準へ設定され、中国人民銀行は金融政策の柔軟さを維持すると見込まれている。(3 月 5 日作成)
(金融市場部 カスタマーGr グローバルカレンシーリサーチ)

当資料は情報提供のみを目的として作成されたものであり、何らかの行動を勧誘するものではありません。ご利用に関しては、すべてお客様御自身でご判断下さいませ。宜しくお願い申し上げます。当資料は信頼できると思われる情報に基づいて作成されていますが、当行はその正確性を保証するものではありません。内容は予告なしに変更することがありますので、予めご了承下さい。また、当資料は著作物であり、著作権法により保護されています。